‘ὁ κόσμος, ἀλλοίωσις· ὁ βίος, ὑπόληψις.’

38号 1991.8.31
文・編集・発行
恋怪子

POEM:「音楽」(La Musique) ボードレール

音楽

しばしばよ、音楽の、海のごと、わが心捉うるよ！
青ざめし、わが宿命の、星めざし、
霧けむる空の下、無辺なる宇宙へと、
われ船出する。
帆の如く、胸を張り、
呼吸かろく、
寄せかえす、波の背を、われ渡る、
夜のとばり、とざす奥。
難破の船の一切の苦悩を、
われの感ずるよ、胸の奥所に。
また順風の、あらしの波の、
わだつみの奈落の上に、
われを揺る。——またある時は、油凪、見る限り一面の
わが絶望の、真澄かがみ！

LIVE: EIZI 1991.8.23 原宿ルイード

ライブ・サポート: G. YOU (元DEAD END)
B. 根岸孝旨 D. 松本淳

はじまったとたんに、心がふわあっと軽くなって音楽の中に入っていけた。EIZIの歌、いままでいちばん！ YOUのギターも、だからとりわけ魅惑的。ほんとうに美しい。ぼうっとみとれていた。歌をききながらEIZIの目をみつめていると、私のなかからなにかが流れ出してあの目の中にすうっとすいこまれていった。よどみなくさらさらと。
「憂愁」と「PLEASE KILL ME」がとくによかった。

EIZI 次のライブ 9/17 ルイード

MOVIE&LIVE:

「ロッキー・ホラー・ショー&ライブ」

9/14〜9/16 浅草常盤座
1:00PM / 7:00PM
前売¥2,500 当日¥2,800
実行委員会(3707)7548

MOVIE:

「レニングラード・カウボーイズ・ゴー・アメリカ」(アキ・カウリスマキ監督)

9/9, 9/10 池袋文芸坐2
「チキンハート・ブルース」(ロバート・ドーンヘルム監督)、「ロザリー・ゴーズ・ショッピング」(バーシー・アドロン監督)併映

レニングラード・カウボーイズ・ゴー・アメリカ	10:20	3:25	8:30
チキンハート・ブルース	12:05	5:10	
ロザリー・ゴーズ・ショッピング	1:45	6:50	

メキシコにたどりつくまで通過していくアメリカのなんとキレイなこと！

映画「フランケンシュタインの花嫁」を観た。フランケンシュタイン博士のつくりだした怪物が山小屋からさまよいでてくる。音楽にひかれて中に入っていくところは涙がでるほど感動的。ヴァイオリンで「アベ・マリア」を奏でていた老人は盲目だから、怪物の外見にまどわされずにまっすぐにその心に触れることができて、2人はすぐに友人になれる。メアリー・シェリーの原作「フランケンシュタイン」も実に美しい文学作品です。

CD:「LET ME IN」JOHNNY WINTER

「THE WINTER OF '88」以来のアルバム。ジョニー・ウィンターみたいなのはあちこちにころがってるけど、ジョニー・ウィンターはこれだ!!!
Dr. JOHNが4曲ピアノで参加。
この写真シブくてステキ！
こんどこそ来日して下さいネ

CD:「METALLICA」METALLICA

これまでで最高のプレイができたと思う。今回は本当に自信があるんだ。前作にはそれほど自信が持てないんだけど……あの中には良いものもあるけど俺が聴きたくないところもあるんだよ。俺にしてみれば"批判的"なところがね。今聴いてみると、俺のプレイの中に余分なところがあるように思えてくるから不思議だよね。「ここの俺のプレイは一体、何を意味しているんだろう、何を考えていたんだろう」ってところもあるんだ。「こういうのは取り払ってしまいたい」っていうところさえある。(笑)
だけど今回はどのプレイにも自信がある。すべてのプレイに意識的だし、納得している。良く考えて作ったと言うことができるし、それはメンバー全員が感じていると思うよ。このアルバムには、自分のプレイが詰まっていると感じられるんだ。

——カーク・ハメット(「METALLION」誌より)

METALLICAの新しいCD「METALLICA」をかけてヴォーカル、ギター、ベース、ドラムが絶妙なバランスで、それがMETALLICAらしいって感じがする。前作の「…AND JUSTICE FOR ALL」ももちろんすばらしかったけど、こんどの「METALLICA」をきくと、ベースのジェイソン・ニューステッドがインタビューで「AND JUSTICE FOR ALL」はちょっとプロデュースし過ぎだったと思う」といっているのがわかるような気もする。

カーク・ハメット

9月16日はT・REXのマーク・ボランが死んだ日で、今年はティラノザウルスとTHE YELLOW MONKEYが川崎クラブチッタで「マーク・ボラン追悼ライブ」をやる。誰かの誕生日とか命日とか、何かの記念日とか、過去の出来事で、それだけで、ある日が特別な日になるわけではない。特別な日にするには意志が要る。
1989年9月16日、渋谷ラ・ママの「マーク・ボラン追悼ライブ」でティラノザウルスのギターの人に遭遇した。あの日から2年。あの日、あのギターをきいて、生きる次元がねじれて、そのままずうっとはまりこんでいる宇宙を想う。すると9月16日が特別な日になる。2年前の9月16日を何度も何度も想い返し、考えるから、ジャン・ジュネが「泥棒日記」で「過去の接ぎをかりて定着された現在」と書いている意味で9月16日がくり返し定着しなおされて、幾重にも「現在」が重なって、ぶあつい9月16日。